

日本赤十字社神奈川県支部への救急車両贈呈に伴う感謝状の受贈について

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、社会貢献の一環として、日本赤十字社神奈川県支部に対して、協会発足当初から継続して支援を行っています。

この度は、日本赤十字社が、災害時に医師や看護婦等の医療スタッフが乗車し、資器材を搭載して災害現場に急行する救急車両の整備を支援しました。

これに対し、同日、黒岩祐治日赤県支部長から、感謝状をいただきました。

1. 日時	平成28年11月7日（月）
2. 場所	神奈川県庁本庁舎第2応接室
3. 感謝状贈呈者	日本赤十字社神奈川県支部 支部長 黒岩祐治(神奈川県知事)
4. 受贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会

5. 概要

神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、昭和60年の協会設立以来、様々な社会貢献活動を実施してまいりましたが、日本赤十字社神奈川県支部に対しては、協会発足当初から継続して支援を行っており、これまで血液運搬車や医療器具などを助成するほか、神奈川県赤十字血液センターが推進する献血促進イベントへの支援を行ってきました。

東日本大震災の発災を契機として災害現場で活用する通信司令車や器材搬送車両などの災害活動用車両を助成して来ており、この度は、日本赤十字社が災害時に医師や看護婦等の医療スタッフが乗車し、資器材を搭載して災害現場に急行する救急車両の整備を支援しました。この救急車両は、通常時には秦野赤十字病院に配備され救急患者の移送に使用されます。

11月7日、神奈川県庁本庁舎第2応接室において、伊坂重憲会長から、黒岩祐治日赤県支部長に救急車両のレプリカキーを贈呈しました。

これに対し、同日、黒岩日赤県支部長から、感謝状をいただきました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞・毎日新聞に掲載され、タウンニュースでも紹介されました。

